

取組概要

宇目緑豊中学校では、「夢の実現に向けて仲間とともに挑戦し、自信をもってやり遂げる生徒の育成」を目指し、生徒自身が学習や生活、運動に関する目標を設定し自己評価を行う取組を積み重ねるとともに、総合的な学習の時間を中心に宇目神楽・唄げんか等地域の文化を継承したり、地域の方々と交流できる環境をつつたりして、地域とのつながりや人間力の向上に取り組んでいる。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆客観的データに基づいた検証とSWOT分析により、学校の課題を洗い出し、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、PTA総会・理事会等を通して家庭・地域と4点セットを共有している。
- ◆検証・改善の際には、取組状況・達成状況の確認及び生徒の実態を把握した上で、チームの横連携により検証・改善の視点を明確にしている。

特徴的な活動

- ◆協育ネットワークとの連携により、授業や学校行事、総合的な学習の時間等において、地域のひと・もの・ことを生かした体験活動を推進している。
- ◆自己調整力や達成感向上のため、生徒が具体的な目標を設定し、取組状況の把握や自己評価を行ったり、50m走の自己目標を設定し挑戦したりする取組等を行ったりしている。

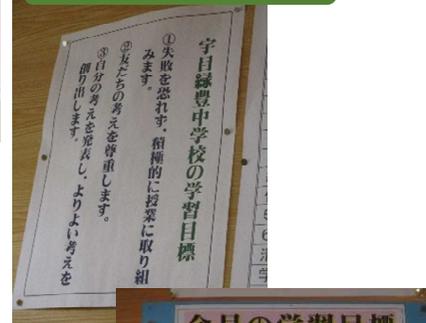
関係者の声

- ◆学習、行事、生活目標等について、生徒自身ができたこと・次に取り組みたいこと等の視点から自分自身を振り返り、達成感や成就感を味わわせる取組を充実させていくことが大切である。
- ◆「生徒同士だけでなく、教師や保護者に対してプレゼンすればよい」という関係者の声を踏まえ、多様な他者と交流し合う場を設定するとともに、生徒のプレゼンテーションや表現活動についての外部評価を生徒にフィードバックし、生徒の表現力やコミュニケーション力の育成につなぐことも考えられる。

学校全体で取り組むESD（持続可能な開発のための教育）



月ごとの学習目標



生徒会主体の取組と月ごとの振り返り

